

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公開番号】特開2005-97499(P2005-97499A)

【公開日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-367533(P2003-367533)

【国際特許分類】

C 08 L 101/12	(2006.01)
C 08 K 7/06	(2006.01)
C 09 D 5/24	(2006.01)
C 09 D 165/00	(2006.01)
C 09 D 179/02	(2006.01)
C 09 D 179/04	(2006.01)
C 09 D 181/02	(2006.01)
C 09 D 201/02	(2006.01)
C 09 D 201/08	(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/12
C 08 K 7/06
C 09 D 5/24
C 09 D 165/00
C 09 D 179/02
C 09 D 179/04
C 09 D 181/02
C 09 D 201/02
C 09 D 201/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月6日(2006.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水溶性導電性ポリマー(a)、溶媒(b)、およびカーボンナノチューブ(c)を含有することを特徴とするカーボンナノチューブ含有組成物。

【請求項2】

さらに、高分子化合物(d)を含有することを特徴とする請求項1記載のカーボンナノチューブ含有組成物。

【請求項3】

さらに、塩基性化合物(e)を含有することを特徴とする請求項1または請求項2記載のカーボンナノチューブ含有組成物。

【請求項4】

さらに、界面活性剤(f)を含有することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか一項に記載のカーボンナノチューブ含有組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明の第1は、水溶性導電性ポリマー( a )、溶媒( b )、およびカーボンナノチューブ( c )を含有することを特徴とするカーボンナノチューブ含有組成物である。

本発明のカーボンナノチューブ含有組成物は、さらに高分子化合物( d )、塩基性化合物( e )、界面活性剤( f )、シランカップリング剤( g )及び/またはコロイダルシリカ( h )を含有することで、その性能の向上をはかることができる。

また、水溶性導電性ポリマー( a )は、スルホン酸基及び/またはカルボキシル基を有する水溶性導電性ポリマーであることが望ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の第2は、水溶性導電性ポリマー( a )、溶媒( b )、およびカーボンナノチューブ( c )を混合し、超音波を照射することを特徴とするカーボンナノチューブ含有組成物の製造方法である。この超音波の処理によって効率よくカーボンナノチューブが溶媒に分散化あるいは可溶化することができる。